



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

2021年1月15日

## 国連世界観光機関 (UNWTO) 世界観光指標 (World Tourism Barometer) 2020年12月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）

及び全文（有償）をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

### 国際観光客到着数が70%以上の減少となり、世界の観光は1990年の水準に後退

2020年12月17日付 UNWTO 本部発表の和訳です。

原文はこちらから：<https://www.unwto.org/news>

2020年1月から10月までの国際観光客到着数は72%減少しており、観光を目的とした渡航の制限（以下「渡航制限」という。）、消費者意欲の低下、世界中における新型コロナウイルス感染症封じ込めのための苦闘といったことにより、観光の歴史の中で最悪の年となっている。

**国連世界観光機関 (UNWTO) の最新のデータ**によると、世界の国・地域が1月から10月までの間に受け入れた国際観光客到着数は、2019年の同時期と比べて9億人少なかった。これは、**国際観光における輸出収入の9,350億米ドル相当の損失**であり、世界経済危機の影響を受けた2009年の10倍以上となった。

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific  
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

UNWTOのズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「今回の危機が始まって以来、UNWTOは**新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界的大流行）が世界観光に及ぼす未曾有の影響**を示す信頼できるデータを政府や民間セクターに提供してきました。ワクチンの開発に関するニュースが旅行者の意欲を高めますが、回復までにはまだ長い道のりです。したがって、私たちは観光セクターにおける雇用と事業を支援しながら、安全に国境を開く努力を重ねていく必要があります。観光がこの前例のない危機によって最も影響を受けたセクターの一つであることは、これまで以上に明らかとなっています。」と述べた。

現時点でのデータを基に、UNWTOは、2020年全体で**国際観光客到着数が70%～75%減少**すると予測している。この場合、到着数が10億人の減少となり、**国際観光収入も約1兆1,000億米ドルの損失**を被ることから、世界の観光は30年前の水準に戻ることになる。今回のパンデミックによる観光の大幅な減少は、世界のGDPにおいて、2兆米ドルの経済的損失をもたらす可能性がある。

### **渡航制限が引続き景気回復の足かせになった**

最もパンデミックの影響を受け、これまでのところ最も渡航制限のレベルが高い地域であるアジア・太平洋では、2020年1月から10月までの到着数は82%の減少となった。中東は73%の減少となり、アフリカは69%の減少となった。ヨーロッパと米州は、68%の減少となった。

ヨーロッパでは、7月と8月の夏の繁忙期にわずかながらであるが短期間の回復を示した後、9月と10月にはそれぞれ72%、76%と、他地域と比べてより小さな減少率を記録した。地域全体における新型コロナウイルス感染症の再流行は、様々な形での渡航制限の再導入をもたらした。しかしながら、ヨーロッパでは、主にシェンゲン加

盟国の間において、より多くの国・地域（2020年11月1日時点で91%）が、渡航制限を緩和している。

一方、アジア・太平洋地域では、中国やその他の主要な国・地域での国境の閉鎖が続いていることを受けて、9月と10月にほぼ100%の減少を記録し続けた。米州は、6月以降徐々に改善し、10月にかけての国際観光客到着数の減少幅は比較的小さくなっている。これは、カリブ海の小島嶼開発途上国を含む多くの国・地域が国境を開放したことによる。

ポロリカシュヴィリ事務局長は、「安全が確認された時はいつでも、渡航制限の緩和・撤廃に向けた協調的な取組が必要不可欠です。これにより、国・地域が再び観光に開放されるだけでなく、**各国間における明確で一貫性のあるルール**により、国際旅行への信頼を取り戻し、旅行者の消費意欲を高めることに大きな役割を果たします。」と、更に述べた。

### **一部の市場で若干の改善が見られるものの、全体としては依然として弱い需要が続いた**

国際観光支出に関するデータは、アウトバンドに対する需要が非常に低迷していることを引き続き反映している。しかし、米国、ドイツ、フランス等の一部の大規模な市場では、ここ数箇月、幾分かの回復の兆しが見られた。また、中国、ロシアなど一部の市場では国内観光需要の伸びが続いている。

将来を見据えると、ワクチン開発の発表やワクチン接種の開始によって、消費者意欲が徐々に高まることが期待される。同時に、ますます多くの国・地域が渡航制限の緩和や撤廃を進めている。UNWTOの最新の調査によると、閉鎖された国・地域の割合は、2020年4月下旬の82%から11月上旬には18%に減少している（国際観光客到着数の割合で表示）。

UNWTOによる2021年～2024年に向けた長期のシナリオでは、観光は2021年後半までに回復することを示している。それでもなお、国際観光客到着数の観点から見ると、2019年の水準に戻るには2年半から4年かかる可能性がある。

関連リンク:

[渡航制限に関する第8回報告書 \(UNWTO Travel Restrictions Report\)](#)



[国ごとの観光業界全体の回復状況をリアルタイムで比較 \(UNWTO Tourism Recovery Tracker\)](#)



[観光市場情報](#)



**World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific**  
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは  
UNWTO 世界観光指標 (「バロメーター」) は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関 (UNWTO) について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所は、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問い合わせ先(UNWTO 本部; メディア専用窓口)

E-mail: [comm@unwto.org](mailto:comm@unwto.org)

Tel: (+34) 91 567 8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください

お問い合わせ方法につきご質問がある方は

UNWTO 駐日事務所までご連絡をください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所  
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当: 吉田、村田

電話: 0742-30-3880

E-mail: [info@unwto-ap.org](mailto:info@unwto-ap.org)

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific  
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: [info@unwto-ap.org](mailto:info@unwto-ap.org)